

1970年以降、王子グループはさまざまな分野で海外展開を進めてきました。このコーナーでは、世界各国で事業活動を拡大させてきた各社の挑戦を紹介します。

- 1 1999.08 設立 **Ojtex (Vietnam) Co., Ltd.** ベトナム
- 2 2010.10 設立 **王子製紙国際貿易(上海)有限公司** 中国
- 3 2011.03 G参入 **S. PACK & Print Public Co., Ltd.** タイ
- 4 2011.03 G参入 **Sahakij Packaging Co., Ltd.** タイ
- 5 2011.08 G参入 **Harta Packaging Group** マレーシア
- 6 2011.09 G参入 **Oji Papéis Especiais Ltda.** ブラジル
- 7 2012.06 設立 **Oji India Packaging Pvt. Ltd.** インド



since 1999

Ojtex (Vietnam) Co., Ltd.

ベトナム

ベトナム経済への持続的な貢献を目指して

1997年3月にマレーシアの日系企業Texchem社から王子製紙段ボール事業部に合併事業に関する打診があった。両社による現地調査を行った結果、ビジネスチャンスは十分にあるとの判断からプロジェクトを合併事業で進めることが決定。当時のベトナムはソニー、松下電器をはじめとする家電メーカー等、労働集約的な製造業のホーチミン地区への進出が進んでいた。このように、製造業のベトナム進出が活発化することが予測されたこともあり、高品質段ボールへの需要も飛躍的に拡大すると見込まれていたため、外資系大手段ボールメーカーに先駆け、ホーチミン地区に段ボール工場を設立することが決定。海外での建設業者の選定等の苦労があったが、2000年にBien Hoa本社工場が稼働した。

生産量の拡大と共に2016年にはBinh Duong工場、2022年には最新の設備を導入するLong Thanh工場を稼働させた。今後は日系企業としての良さを最大限残しながらも、ローカライズしていくことが課題になるが、時流に沿ってSDGsにコミットしながら事業活動を進め、引き続きベトナム経済に貢献していく。



① Bien Hoa工場 ② Binh Duong工場 ③ Long Thanh工場 ④ 2007年 篠田社長工場来場 記念植樹 ⑤ Long Thanh工場内コルゲーターマシン ⑥ 2016年5月Binh Duong工場開所式

会社概要

会社名
Ojtex (Vietnam) Co., Ltd.

事業内容
段ボールの製造販売

設立年
1999年

所在地
ベトナム ドンナイ省/ビンズオン省

沿革

1999年 会社設立(Texchem Resources社との合併)

2000年 操業開始(Bien Hoa本社工場)

2005年 Texchem Resources社の持分30%を取得し独資化

2016年 Binh Duong工場 営業生産開始

2022年 Long Thanh工場 営業生産開始

since 2010

王子製紙国際貿易(上海)有限公司

中国

王子グループのパルプ、木材事業拡大への更なる貢献

2010年10月、中国での紙需要増加に伴い、パルプ需要も大幅に増加すると考えられる中、王子グループが中国でパルプを直接販売し、安定した収益を確保するための拠点として、上海市に王子製紙国際貿易(上海)有限公司(以下、OPIT)が設立された。OPITは、日本国内外の王子グループ各社で生産されたパルプを販売するとともに、木材製品の輸出入販売、製紙用薬品・原料の調達、情報収集も同時に行うなど、中国における当社グループの「資源ビジネス」の拠点として立ち上げられた。

設立当初は日本人駐在員4名、現地スタッフ6名の計10名で業務を開始。2012年以降、Pan Pac/BCTMP及び南通工場/LBKP、米子工場/DP、セニプラ/LBKP、日本産原木等の販売を開始。当時は、ユーザーに直接電話でアポイントを取りゼロから顧客を開拓、また、手形支払いが一般的だったため、遠隔地まで行き手形回収を行う等、スタッフで力を合わせ、困難を乗り越えながら、「資源ビジネス」の拡充、王子グループ各社の森林資源の中国でのマーケット開拓を積極的に行ってきた。

今後もグループパルプ事業の更なる発展を目指しアジア地域への販売を拡大させていく。



1 OPIT他、中国王子グループ各社の事務所がある上海国際貿易ビル 2 南通工場LBKP 3 王子グループパルプ会議の会議風景(2019年)

会社概要

会社名
王子製紙国際貿易(上海)有限公司

事業内容
パルプ・木材製品・資材の口銭販売、
パルプ仕入販売等

設立年
2010年

所在地
中国 上海市

沿革

2010年 王子製紙国際貿易(上海)有限公司設立

2011年 業務開始(南通工場向けパルプ調達、自製パルプの中国向け販売、木材製品の販売他)

2012年 Pan Pac/BCTMPの販売開始

2013年 日本産原木の中国向け販売開始

2014年 南通工場/LBKP、米子工場/DP販売開始

2016年 セニプラ/LBKP販売開始

since 2011

S. PACK & Print Public Co., Ltd.
Sahakij Packaging Co., Ltd.

タイ

タイにおけるパッケージング事業の拡大

2010年以降、王子グループが東南アジアにおけるパッケージング事業の拡大を進める中、タイは多種多様な日系企業が進出しておりパッケージング事業においても力強い需要が期待されていた。そのような状況下で、S.PACKはタイ南部に位置しマレーシア国境と近いことからマレーシアのGSPPとのシナジーも期待され、子会社化された。

買収検討時に想定していた家電向け段ボールは、その生産がベトナムへ移管され、水産加工向けは養殖エビの病気があり売上が減少。厳しい事業環境にあったが、安定的に成長するゴム手袋向けや食品向けに注力したことにより、売上高・営業利益共に買収直後から順調に推移している。主力のゴム手袋向けに関しては衛生管理意識の向上を受け今後も需要拡大が予想されている。当社としても旺盛な需要を逃さないよう事業運営を行うと共に、今後も地域社会に根差した企業運営を行っていく。



1 S.PACK工場正面 2 Sahakij工場正面

会社概要

会社名
S. PACK & Print Public Co., Ltd. (S.PACK)
Sahakij Packaging Co., Ltd. (Sahakij)

事業内容
紙器・段ボールの製造販売

設立年
Sahakij 1988年
S.PACK 1994年
(2011年王子グループ参画)

所在地
タイ

沿革

1988年 Sahakij Packaging Co.,Ltd.設立

1994年 S.PACK & Print Public Co.,Ltd.設立

1997年 S.PACKによるSahakij買収、完全子会社化

2004年 S.PACK、タイ証券取引市場に上場

2011年 王子グループがS.PACK株式を取得、関連会社化

2012年 Sahakij事務所および工場を現在のサムットサコン県/シンサコン印刷工業団地へ移転その後、王子グループにより子会社化

since 2011

Harta Packaging Group

マレーシア

東南アジアでのパッケージング事業の拡大・強化

1987年にHarta Ngiakとして設立され、その後、1990年に社名をHarta Packaging Industries Sdn Bhd(以下HPI)に変更。マレーシア北部、中部、南部地域において段ボール原紙、段ボール、ダイカットコンテナ、紙製パレットの製造を中核事業として展開。その後、主力事業としてプラスチックバッグ事業が加わった。設立後わずか10年という短い期間で、HPI Resources Bhdは1997年にクアラルンプール証券取引所(現在のブルサ・マレーシア)に上場した。2000年にはホーカー紙(テイクアウト時に食品を包む紙)、ハンバーガー紙、紙袋を製造するHarta Fleksipakの工場が稼働し、食品包装事業に参入。また、2004年には急成長しているカンボジア市場において、段ボールとプラスチックのパッケージング事業を立ち上げた。パッケージングだけでなく、製紙も含めた統合メーカーを目指し、2008年には様々な種類の紙を生産する製紙工場であるTrio Paperを買収し、大きな飛躍を遂げた。

2011年8月には、東南アジア地域でのパッケージング事業の拡大を目指すOji Paper Asia(当時)により買収され、王子グループの一員となる。HPIグループは創業以来、マレーシアとカンボジアにおいてパッケージング事業の拡大と成長を続けてきた。今後も王子グループの一員として持続可能な社会の実現を目指しながら、お客様に優れたサービスと製品の品質を提供していく。



①1990年、HPIグループ第一工場 Harta Batu Pahat ②2012年、ニライ工場内部 ③2012年、ニライ工場新オフィス ④2019年、Harta Perakの第二工場の開所式 ⑤2021年、UKB第二工場(マレーシア南部/段ボール工場)稼働

会社概要

会社名
HPI RESOURCES BERHAD

事業内容
製紙・段ボール(シート・製函)・製袋・特殊紙加工・プラスチックバッグ製造販売

設立年
1987年

所在地
マレーシア/板紙(Trio Paper)
段ボール工場(北部:Perak1・2、中部:Nilai、南部:Batu Pahat、UKB1・2)
プラスチックバッグ・食品包装(南部:Chiga Light、Harta Fleksipak)
カンボジア/段ボール工場(Harta Cambodia、Oji Packaging Cambodia、Ojitex Harta)

沿革

1987年 マレーシア南部のBatu PahatにてHarta Ngiak(旧社名)設立

1990年 社名をHarta Packaging Industries Sdn Bhd(HPI、現Harta Batu Pahat)に変更

1997年 HPI Resources Bhdがクアラルンプール証券取引所(現在のブルサ・マレーシア)に上場

2004年 Harta Cambodia(カンボジア・ブノンベン/段ボール工場)稼働

2008年 Trio Paper(マレーシア北部/段ボール原紙工場)買収

2011年 王子グループによる買収

2013年 Ojitex Harta(カンボジア・シハヌークビル/段ボール工場)稼働

2020年 Oji Packaging Cambodia(カンボジア・ブノンベン/段ボール工場)稼働
United Kotak Berhad(UKB)がHPIグループの傘下となる

2022年 UKB第二工場(マレーシア南部/段ボール工場)稼働

since 2011

Oji Papéis Especiais Ltda.

ブラジル

感熱紙業界のリーディングカンパニー

OPEの歴史は、1953年にサトウキビ搾汁後の残渣から紙を製造したことに始まる。その後90年代に、王子製紙(当時)はOPEのかつてのオーナーであったブラジルの財閥ボトランチンググループに対して感熱紙・ノーカーボン紙の技術供与を行うと、2011年に当グループの特殊紙の工場を買収。本工場がOPEとなり、王子グループのブラジルでの一大生産拠点となった。買収以降、12年間の事業活動の中で絶えず成長を続けており、2012年の第一期増産工事では、塗工機のドライヤー・塗料設備を増強。2017年に実施した第二期増産工事では、感熱紙塗工工程に最先端技術を導入し、年間5%以上成長する中南米市場の需要に添えてきた。

環境面では、資源保護とSDGs等の時代の要請を念頭に置き、製品に使用するパルプは全てFSC®(森林管理協議会)認証を受けたものを使用している。また、生産工程において使用する用水は近郊の川から取水した後、水質を厳しく管理・処理し、環境負荷の軽減に努めている。

OPEは所在地であるサンパウロ州ピラシカバ市での食料や衣服の配布、パラリンピックバスケットボールチームや青少年サッカーチームへの支援など、社会・文化・スポーツ等あらゆる面からの寄付活動を通じ、地域貢献活動も継続的に行ってきた。今後もこれらの活動を大切にしながら、特殊紙のシェア拡大に向け成長を続けていく。



①2021年新設備導入後のパノラマ写真 ②会社正門 ③当社製品(ラベル用感熱紙) ④当社製品(レジ用感熱紙) ⑤完成後稼働を待つ新設備

会社概要

会社名
Oji Papéis Especiais Ltda.

事業内容
感熱紙、ノーカーボン紙等の製造、販売

設立年
1953年(2011年王子グループ参画)

所在地
ブラジル サンパウロ州ピラシカバ市

沿革

1953年 製紙工場設立

2011年 王子グループに参画

2012年 塗料設備増強(第一期)

2017年 塗工工程増強(第二期)

2021年 新設備導入(第三期)

since 2012

Oji India Packaging Pvt. Ltd.

インド

インドとともに成長する王子グループの段ボール事業

Oji India Packaging は成長著しいインドにおける王子グループの最初の拠点として 2012 年に設立され、2014 年よりラジャスタン州ニムラナの日系工業団地で段ボール生産を開始した。ニムラナ工場操業開始後の数年間は販売数量がなかなか伸びず、赤字続きの状態だったが、顧客である地元インドの家電メーカー等が成長するにつれ我々の業績も好転し、2019 年度には初の黒字化を達成。またこの年、第 2 工場としてタミルナドゥ州においてチェンナイ工場が、2020 年には第 3 工場としてグジャラート州でサナンド工場が生産開始した。

インドはちょうど日本の高度成長期にあたるような発展ぶりとなっており、各家庭に白物家電やエアコンが急速に普及し、これにあわせ段ボール需要も伸びてきている。これに応えるべく、2021 年にパンジャブ州の段ボールメーカーである Empire Packages が新たに王子グループに加わることとなった。さらに現在、2024 年秋の生産開始を目指してアンドラプラデシュ州にインド最大級となるスリシティ新工場を建設しており、今後もインドの旺盛な需要に応えるため成長し続ける。



①朝はラジオ体操! ②ニムラナ工場③チェンナイ工場④サナンド工場⑤Empire Packages デラバシ工場⑥建設中のスリシティ新工場

会社概要

会社名
Oji India Packaging Pvt. Ltd.

事業内容
ダンボールの製造販売

設立年
2012年

所在地
インド

沿革

2012年 Oji JK Packaging設立

2014年 ニムラナ工場 営業生産開始

2017年 Oji India Packagingに社名変更

2019年 チェンナイ工場 営業生産開始

2020年 サナンド工場 営業生産開始

2021年 Empire Packagesが王子グループ入り

2023年 スリシティ新工場建設開始